

# サハラ砂漠の村に小さな種を育てる活動を支援する会

第1巻 第2号 発行日2004/8/20

\*捨てればゴミ、使えば資源  
\*資源や環境を大切に経験や知恵や支援を寄せて下さい

NGO Okhotsk 093-0042 網走市潮見8-1-5 Tel:090-5989-1046 mail:famcon@seagreen.ocn.ne.jp

## 森も川も無いサハラ砂漠沿岸で「粒牡蠣生産」に成功

(松本卓氏談) 資材不足と干満差を逆手にとった養殖方法で牡蠣を生産するに至った支援5年目の報告です。

サハラ砂漠沿岸のオホーツクのノトロ湖、サロマ湖の様な潟湖で不安定な刺し網漁をしている現地人を支援し自らの手で育成から収穫の技術支援の成果として2004年に45トンの粒カキを収穫し各種の検査許可を得て1500km離れたカサブランカ、ラバトへ保冷車で初出荷しました。

去年帰国時に指導戴いた「育ちすぎる問題」については“育成中の殻折れ”技術により厚すぎる殻が薄くなりました。干出させ牡蠣に殻開閉の習慣をつけると身がより入り殻の厚み形・実入り共に良い「粒牡蠣」が出来るようです。

この国の沿岸漁業は加工、流通の技術・施設・組織が確立していません。育てて獲り、鮮度保持や加工が出来ればそれだけ現地の人々の就労の機会を広げ収益を得る事が出来ます。国内出荷で一定量の実績が出来れば船で30分の大観光地スペインのカナリアやフランスパへの出荷も可能になります。

今後は加工技術習得も課題です。未利用資源はウニ、ナマコ、エビ、タイ、平目、イワシ、底魚、イカ、タコその他日本と同じ物が沢山あります。



6メートルの干満差を利用の垂下養殖



干潮時に粒牡蠣の手入れ



荷揚げ場もないので



滑車で楽々。家族総出で初出荷



立派に育った粒牡蠣の初水揚げ



保冷車で1500km先のホテルへ

### 子供たちの支援には

あなたには不用品でも、小額のお金でも発展途上国の子供たちに大きな夢と可能性を与えることが出来ます。

例えば1000円でも、再利用できる服や毛布でも、そしてノートや鉛筆なども役に立ちます。

貴方にとって小さなお金でも、不要な物でも途上国の就労機会、現金収入(約1万円位が一家15人位の月収)の少ない現地の人々には大きな支援になります。

国内の連絡は：090-5989-1046

### こんな物も必要としています

故障の少ない旧式機械類や生活用品  
砂漠ですが毛布や防寒具も必要なのです。  
ジーゼルエンジン車、小型漁船、小型船外機、プロパンガスコンロ、その他

### 現地情報；

カサブランカで開店する日本食レストランが魚おろしの出来る人を探しています。  
雇用創出、支援のために「サハラ天然塩」の共同購入を計画しています。  
松本携帯へ直通：010-212-616-49578